

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 ケル株式会社

コード番号 6919 URL <http://www.kel.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 高橋 和良

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 矢ヶ崎 晶夫

TEL 042-374-5810

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|-------|------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 6,831 | 28.8 | 638 | 196.3 | 641 | 179.8 | 375 | 192.4 |
| 22年3月期第3四半期 | 5,304 | △9.1 | 215 | 77.8 | 229 | 66.4 | 128 | — |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 25.43 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 8.69 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|--------|---|-------|---|--------|----------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 11,785 | | 8,385 | | 71.1 | 567.42 |
| 22年3月期 | 11,023 | | 8,097 | | 73.5 | 547.84 |

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 8,385百万円 22年3月期 8,097百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 2.00 | — | 4.00 | 6.00 |
| 23年3月期 | — | 2.00 | — | | |
| 23年3月期(予想) | | | | 4.00 | 6.00 |

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|----|-------|------|------|------|------|------|-------|------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 8,500 | 18.4 | 680 | 91.7 | 690 | 93.5 | 350 | 80.9 | 23.68 |

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 15,486,000株 22年3月期 15,486,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 708,466株 22年3月期 705,695株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 14,778,609株 22年3月期3Q 14,780,741株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信【添付資料】P.2「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) セグメント情報等 | 9 |
| (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、好調が続く新興国向けの輸出や、大手企業の業績回復効果にもかかわらず、政治の混迷でデフレや雇用への有効な対策が打てず個人消費が低迷する厳しい状況で推移いたしました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、輸出や設備需要に加え、エコポイント制度の変更に伴う駆け込み需要で堅調だったものの、欧米経済の不安定さが拭えず、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、市場の深耕に努め受注活動を活発化させるとともに、コストの削減と経営全般にわたる合理化を進めてまいりました。一方で、シリアルATAハードディスク用フローティングコネクタや完全水平接続が可能となるライトアングルタイプの0.635mmピッチ2ピースコネクタ等を開発いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は68億31百万円（前年同期比28.8%増）、利益面につきましては営業利益6億38百万円（同196.3%増）、経常利益6億41百万円（同179.8%増）、四半期純利益3億75百万円（同192.4%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ7億62百万円増加し、117億85百万円となりました。これは、投資有価証券の減少額1億72百万円があったものの、受取手形及び売掛金の増加額6億36百万円並びに現金及び預金の増加額3億7百万円があったこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ4億74百万円増加し、34億円となりました。これは、未払法人税等の増加額2億56百万円、支払手形及び買掛金の増加額1億49百万円等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億87百万円増加し、83億85百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ、2.3ポイント下降し、71.1%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加し、当第3四半期連結累計期間末には18億13百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は7億16百万円（前年同期は4億82百万円の獲得）となりました。これは、売上債権の増加額6億37百万円があったものの、税金等調整前四半期純利益の計上6億60百万円、減価償却費の計上5億21百万円及び仕入債務の増加額1億89百万円があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は1億95百万円（前年同期は2億44百万円の使用）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入2億69百万円があったものの、有形固定資産の取得による支出額4億20百万円があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は2億10百万円（前年同期は1億62百万円の使用）となりました。これは、短期借入金の減少額1億円及び配当金の支払額86百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期の業績につきましては、概ね計画どおりに推移しております。従いまして、現時点におきましては、平成22年11月1日に公表しました業績予想値に変更はありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末のたな卸高の算出に関して、実地たな卸を省略し、第2四半期連結会計期間末決算に係る実地たな卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 会計処理の原則・手続の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

なお、これによる営業利益及び経常利益に与える影響は軽微であります。過年度分に係る費用負担額を特別損失として計上した結果、税金等調整前四半期純利益は、1,676千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は、2,307千円であります。

② 表示方法の変更

四半期連結損益計算書

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 1,813,866 | 1,506,627 |
| 受取手形及び売掛金 | 3,823,193 | 3,186,490 |
| 商品及び製品 | 351,866 | 348,132 |
| 仕掛品 | 31,401 | 22,281 |
| 原材料及び貯蔵品 | 498,835 | 425,281 |
| その他 | 315,944 | 294,390 |
| 貸倒引当金 | △3,964 | △3,339 |
| 流動資産合計 | 6,831,144 | 5,779,863 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 1,030,032 | 1,092,617 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 1,261,014 | 1,276,389 |
| 工具、器具及び備品（純額） | 248,813 | 290,424 |
| 土地 | 715,394 | 730,774 |
| 建設仮勘定 | 22,013 | — |
| 有形固定資産合計 | 3,277,268 | 3,390,206 |
| 無形固定資産 | 57,089 | 53,216 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 475,614 | 647,678 |
| その他 | 1,144,648 | 1,152,471 |
| 投資その他の資産合計 | 1,620,262 | 1,800,150 |
| 固定資産合計 | 4,954,620 | 5,243,572 |
| 資産合計 | 11,785,764 | 11,023,436 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,501,914 | 1,352,600 |
| 短期借入金 | 450,000 | 550,000 |
| 1年内償還予定の社債 | 36,000 | 36,000 |
| 未払法人税等 | 294,979 | 38,182 |
| 賞与引当金 | 158,436 | 178,396 |
| 役員賞与引当金 | 20,000 | — |
| その他 | 390,460 | 224,103 |
| 流動負債合計 | 2,851,791 | 2,379,282 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 246,000 | 264,000 |
| 退職給付引当金 | 220,591 | 202,871 |
| その他 | 82,306 | 79,978 |
| 固定負債合計 | 548,898 | 546,850 |
| 負債合計 | 3,400,689 | 2,926,133 |

(単位：千円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,617,000 | 1,617,000 |
| 資本剰余金 | 1,440,058 | 1,440,058 |
| 利益剰余金 | 5,468,920 | 5,181,658 |
| 自己株式 | △165,418 | △164,583 |
| 株主資本合計 | 8,360,560 | 8,074,132 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 33,339 | 30,088 |
| 為替換算調整勘定 | △8,824 | △6,917 |
| 評価・換算差額等合計 | 24,514 | 23,170 |
| 純資産合計 | 8,385,074 | 8,097,303 |
| 負債純資産合計 | 11,785,764 | 11,023,436 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|---------------------|--|--|
| 売上高 | 5,304,047 | 6,831,884 |
| 売上原価 | 4,074,327 | 5,040,163 |
| 売上総利益 | 1,229,720 | 1,791,720 |
| 販売費及び一般管理費 | 1,014,369 | 1,153,611 |
| 営業利益 | 215,350 | 638,108 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 1,247 | 705 |
| 受取配当金 | 15,420 | 16,145 |
| 助成金収入 | 8,179 | — |
| その他 | 8,319 | 6,160 |
| 営業外収益合計 | 33,168 | 23,012 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 7,431 | 5,475 |
| 支払手数料 | 5,303 | 5,321 |
| 為替差損 | 6,310 | 8,885 |
| その他 | 216 | 2 |
| 営業外費用合計 | 19,262 | 19,684 |
| 経常利益 | 229,256 | 641,436 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | — | 1,261 |
| 投資有価証券売却益 | — | 103,697 |
| 特別利益合計 | — | 104,959 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 2,050 | 6,538 |
| 減損損失 | — | 15,010 |
| 投資有価証券売却損 | — | 62,512 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 1,568 |
| 関係会社株式評価損 | 3,066 | — |
| 特別損失合計 | 5,116 | 85,629 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 224,139 | 660,765 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 7,922 | 303,756 |
| 法人税等調整額 | 87,652 | △18,929 |
| 法人税等合計 | 95,574 | 284,826 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 375,939 |
| 四半期純利益 | 128,565 | 375,939 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 224,139 | 660,765 |
| 減価償却費 | 477,891 | 521,145 |
| 減損損失 | — | 15,010 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 683 | 624 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | 54,973 | △19,942 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | — | 20,000 |
| 退職給付引当金の増減額 (△は減少) | 16,334 | 17,719 |
| 受取利息及び受取配当金 | △16,668 | △16,851 |
| 支払利息 | 7,431 | 5,475 |
| 支払手数料 | 5,303 | 5,321 |
| 為替差損益 (△は益) | 279 | 2,126 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | — | △1,261 |
| 固定資産除却損 | 2,050 | 6,538 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 1,568 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | △41,185 |
| 関係会社株式評価損 | 3,066 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △626,047 | △637,633 |
| たな卸資産の増減額 (△は増加) | △201,105 | △87,204 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 493,194 | 189,159 |
| その他 | △15,453 | 112,033 |
| 小計 | 426,071 | 753,410 |
| 利息及び配当金の受取額 | 16,516 | 17,217 |
| 利息の支払額 | △5,466 | △4,560 |
| 法人税等の還付額 | 46,665 | — |
| 法人税等の支払額 | △1,073 | △49,545 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 482,713 | 716,520 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △219,071 | △420,309 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 11,426 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △21,088 | △50,489 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 269,183 |
| 関係会社出資金の払込による支出 | △15,000 | — |
| 関係会社の整理による収入 | 7,516 | — |
| 貸付金の回収による収入 | 4,927 | 10,608 |
| 保険積立金の積立による支出 | △35,258 | △4,655 |
| 保険積立金の払戻による収入 | 35,279 | — |
| その他 | △1,350 | △11,592 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △244,045 | △195,828 |

(単位：千円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|----------------------|--|--|
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △100,000 | △100,000 |
| 社債の償還による支出 | — | △18,000 |
| 自己株式の取得による支出 | △164 | △834 |
| 配当金の支払額 | △57,021 | △86,092 |
| その他 | △5,303 | △5,321 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △162,489 | △210,248 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 451 | △3,204 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 76,629 | 307,239 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,194,422 | 1,506,627 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 1,271,051 | 1,813,866 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社グループは、コネクタの専門メーカーとして、同一のセグメントに属するコネクタの製造・販売を行っており、当該事業以外の事業の種類がないため、該当事項はありません。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高が連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

当社グループは、単一セグメントに属するコネクタ、ラック、ソケット等の製造・販売を行っているため、記載を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。